

みおしえ



市川陽山謹字



善光寺前五本尊

埼玉教区浄土宗青年会

<http://www.saijousei.com>

善導大師の觀經の疏の、「一心に専ら弥陀の名号を念じ、行住坐臥に時節の久近を問わず、念々に捨てざるもの、これを正定の業と名づく、彼の佛の願に順ずるが故に」という文を見得てのち、我等がごとくの無智の身は、偏にこの文をあおぎ、もはらこのことわりをたのみて、念々不捨の称名を修して、決定往生の業因に備うべし。

法然上人御法語

《意味》

善導和尚の『觀經疏』の「心を一つにしてひたすら阿弥陀仏の名号を念じ、立ち居起き伏し、時間の長短を問題とせず、片時もやめない、これを正しく定まった行いと名づける。それはかの阿弥陀仏の本願に順っているからである」という一文を知ることができました。それからというものの、我々のような無智な者は、ひたすらこの文を仰ぎ敬い、専らこの道理を頼みとして、片時もやめない称名念仏を修めて、往生を決定させる因として準備するべきであると深く心に留めたのであります。

NHKで放送されていた朝の連続ドラマ小説「花子とアン」が評判のうちに終了しました。「あまちゃん」「ごちそうさん」が大ヒットをした後だけに、制作者側のプレッシャーも並ではなかったのではないのでしょうか。しかし、これだけ好評となればすばらしいことです。毎朝、見終えるとすぐに、明日の放送が待ち遠しくなってしまう、まさにNHKの思うツボでした。

このドラマの主人公である花子さんは、後にモン・ゴメリの名作『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子さんがモデルです。花子さんは、甲府の山奥から東京の女学校に入学します。今までの生活とはまるで違う女学校の生活に戸惑いつつ、日々を過ごします。しかしある日、彼女は女学校で「英語」と出会うのです。この英語との出会いが、彼女の人生を大きく変えることになったのです。英語と出会ってから彼女は、明けても暮れても英語に夢中。廊下を歩くときでも、英語の本を離しません。そして、分からない単語が出てくれば、辞書を引きに走って図書室に行くほど英語漬けの毎日を送ることになるのです。このドラマを見ていますと、花子さんの英語との

出合いは、浄土宗を開いて下さった法然上人がお念仏と出会われたことと似ていると思えるのです。花子さんは英語と出会って英語漬けの毎日を送っていて、英語が生活の一部、いやほとんどすべてとなっていました。

法然上人は比叡山で自らを厳しい修行の中に置きながら、それでもなお、進むべき道を見出せないでいました。その折、善導大師の御著『観経疏』をご覧になって、その中の「一心専念弥陀名号（一心にもつぱら阿弥陀様のお名前をお称えする）」することとで、極楽浄土に往生することができるという一文に出会われました。そして、阿弥陀様のお名前をお称えする「お念仏」を毎日なされるようになり、どんどんお念仏が好きになっていかれ、お念仏が生活の一部どころか、生活のほとんどがお念仏。つまり、何かをしながらお念仏するのではなく、お念仏をしながら何かをするようになっていかれたのだと思うのです。

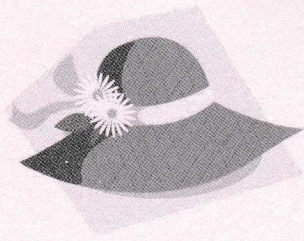
私たちが今、『赤毛のアン』というすばらしい作品を日本語で読むことができるのは、花子さんが英語

と出会ったからです。この出合いがなければ私たちはひよっとしたら『赤毛のアン』を読むことが出来なかったかもしれません。同様に、法然上人がお念仏と出会われたから私たちは今、お念仏を称えることができるとも言えます。

このように考えますと、法然上人がお念仏と出会われたこと、さらに私たちがその教えに出会ったこと、この二つの出合いがあって今、私たちは有難いお念仏の教えに触れることができるのです。

合掌

執筆 正圓寺 粕谷健司



表紙の解説（善光寺前立本尊）

牛に引かれて善光寺参り

表紙絵の仏さまは、長野県長野市にある善光寺の御本尊の「前立本尊」さまです。『善光寺縁起』によると、御本尊は朝鮮半島の百済国の聖明王から日本の欽明天皇に贈られた日本最古の仏像で、本田善光によつて長野の地へと運ばれてきました。（なお、御本尊さまを運んできた本田善光の名にちなみ、「善光寺」と名付けられました。）善光寺の仏さまの特徴は、「一光三尊阿弥陀如来」と呼ばれるように、一つの光背（背中にある船のような形をした光）に阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩の三尊が納まつている形式で、また中央の阿弥陀如来は左手の人差し指と中指を伸ばし、他の指を曲げるという珍しい印相をしています。

冒頭の有名な言葉で知られるように、古くより善光寺の仏さまは多くの庶民から信仰を集めてきましたが、実は、この仏さまは本堂奥の厨子に納められていて、僧侶をはじめ誰も見たことがない「絶対秘仏」です。しかし七年に一度だけ御本尊と全く同じ形をした「前立本尊」が開帳され、お参りすることができます。平成二十七年四月五日から五月三十一日がこの御開帳の期間にあたります。皆さんこの機会に、有難い善光寺の仏さまに会いに行かれるは如何でしょうか。

解説執筆

浄念寺

名和清隆

合掌

浄土宗の総大本山

総本山 知恩院（京都） 法然上人が比叡山を下りてのちお念仏教化の中心地に建つ。上人ご往生の地でもあり、墓所（勢

至堂）がある。

大本山 増上寺（東京） 徳川家の菩提寺であり、歴代將軍の墓所

がある。関東以北浄土宗寺院の中心。

大本山 金戒光明寺（京都） 通称は黒谷さん（くろだにさん）。

法然上人直筆とされる一枚起請文が所蔵される。

大本山 知恩寺（京都） 通称は百万遍（ひやくまんべん）。疫病

退散の為に念仏を百万遍称えたことによる通称。

大本山 清浄華院（京都） 皇室の帰依篤く、皇室の紋章、菊花紋

を許される寺院。明治以降は葉菊紋を寺紋としている。

大本山 善導寺（福岡） 九州出身の浄土宗第二祖聖光上人により

開かれた。九州の浄土宗寺院の中心。

大本山 光明寺（神奈川） 当山九世観誓祐崇上人の時、十夜法要

を始める。浄土宗における十夜法要発祥の寺。

大本山 善光寺大本願（長野） 代々皇族の尼公上人（皇室ゆかり

の女性）が法灯を継ぐ。天台宗寺院とともに善光寺を運

営する。



発行 埼玉教区浄土宗青年会

会 長 宇高康哲

広報編集局長 名和清隆

無断複写を禁止します